

“喜びも哀しみも女楽”第六十回を迎えました。今回は明治百五十年並びに平清盛生誕九百年とか右記に因んでの公演内容です。

一部、源平の武者達の（心意気、魂）中若武者は……

二部、明治の女人達
場所 青山 鍊仙会能楽堂
日時 平成三十年五月二十六日（土）
三時開場 三時半開演 前売り三千円 当日三千五百円

一部

（一）アメリカの大統領等 日本伝統舞台芸術の方々に依る
アメリカの総括プロデュサー山田文彦（宮内庁楽師）他）

二、女楽 祇園精舎 那須与一

琴 中川敏裕
琵琶（薩摩）榎本百香
笛 望月美喜輔
鼓 藤倉夏美

三、女流義太夫 組打の段
（一）谷軍嫩記 組打の段
（貴族から武士時代に移行する平家の若武者敦盛と直実）

竹本越孝
太棹 鶴澤弥吉

二部

特別出演 稲坂良比呂他 「鹿鳴館と香物語」

一、女流講談 樋口一葉「十三夜」明治の女人 神田陽子

二、和歌披講 明治の歌人 与謝野晶子歌集 明治の代表歌人集より
星と森披講学習会有志と女楽

三、新内 明治一代女 富士松鶴千代
唐人お吉 新内勝一朗
流し（三味線） 新内勝志壽

※演目順序は当日入れ替わるかもしれません。ご了承ください。